

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成26年度採択課題）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
26-2	首都圏3環状道路の効率的な運用に関する研究開発	東京大学 教授 大口 敬	B

<研究の概要>

首都圏3環状道路の整備に伴う高速道路利用経路特性、一般道路を含む首都圏道路ネットワークへの影響、施設立地と土地利用への影響等を分析・モデル化し、とくに高速道路網の円滑性を確保するため、交通状態をリアルタイムにモニタリングして首都圏道路ネットワークを効率的に運用する方策を提案する。

<中間評価結果>

貨物車の経路選択特性分析、交通流シミュレーション分析等について、各々研究が進展しており、成果が期待される。

<今後の研究計画・方法への指摘事項>

1. 入手するデータに制約が発生する可能性を考慮して、研究計画の修正を検討すること。